



# 広島工大 同窓会会報

第 25 号

編集 広島工業大学同窓会  
発行 水見 素 吾  
〒731-51 広島市佐伯区三宅2-1-1

広島工業大学が沼田校舎で新入生のオリエンテーション・セミナーをはじめたのが昭和44年の春。それから20年の間、広大な緑の地沼田キャンパスで、春を彩る、さまざまな新入生歓迎のイベントが繰り返り行われてきた。そして昨年夏、平成2年5月に、船上オリゼミが画期的に企画実行され、内外に大きな反響をよんだ。船上のオリゼミは7000トン級のクルーザー（サンジャイムふし）が瀬戸内海を周航する船上で、祝意に満ちた新入生歓迎行事が実施された。

全新生入生を学科別に前班と後班に分け、両班1日半の周遊で計3日間の日程を組んだ。船上でのイベントは、オープニングセレモニー、講演会、学科会、そして自治会文化局の協力学生がプロデュースした、音楽クラブによる盛りだくさんのイベント。

船が夕陽の瀬戸大橋を通過する時は先生も学生も甲板に上り込んで大騒ぎをして橋をおおいでした。



平成2年5月12日、船上オリゼミの様子



瀬戸大橋、朝霞の空をバックにのびやかな景色



船上オリゼミの様子

## オリゼミ 今昔

今、大学は高等教育の転換期を厳重に受け止め、  
将来に向けて大きな2つの目標を樹立

鶴学園副理事長 鶴 衛

同窓会の  
みなさんへ

広島工業大学同窓会の会員数も2万人を越え、同窓会の益々のご発展・充実、誠にありがとうございます。さて今日は、日本の高等教育事情と広島工業大学の将来計画について、少し述べさせていただきます。昔も新聞等で存じのとおり、今、日本の高等教育界は、大きな転換期を迎えております。平成4年をピークとする18歳人口の恒常的な減少問題（H4年約295万人→H12年約151万人→H20年約125万人）、価値観の多々を学生からの授業料に頼る私学へと変化する問題であります。また、大学設置基準の簡素化・大綱化が行われ、開かれた大学になるよういくつかの面で大学に自由が与えられるようになったのですが、その責任も重くなっています。

このような環境の変化の中、本学では、工学部の教育研究のより一層の充実を図るとともに、将来に向けて2つの大きな目標を立てています。まず第1の目標は本学全体の発展です。本学の大学院は、現在、電子工学専攻、機械システム工学専攻、土木工学専攻（いずれも修士課程）を設置しております。今後は、電気工学、建築学科、経営工学に修士課程を増設し、さらには、各専攻に博士課程を新設して、高度に優れた人材育成に取り組んでいきたいと考えております。

第2の目標は、本学に新しい学部を創設することです。新学部では、工学以外の学

問分野からの人材育成により、日本や中国四国地域の発展にこれまでとは違った角度から貢献していきたいと願っております。ただ、前述しましたように、18歳人口減少期ということもあり、新学部の設立認可を文部省より受けけることは、大変厳しい状況にあります。現段階では、新学部を創りたいというのは、我々の願望に近いものでありますが、今後は、文部省ともよく協議のうえ、この目標を達成できるよう努力していく所存でございます。



同窓会を窓口にして、大学との  
産学協同の共同研究、共同開発の実現を！  
そのためには、同窓会の組織改革が急務である  
同窓会副会長 橋田 好弘

同窓生の皆さん、日夜仕事に励んでおられることと拝察いたします。顧みるに卒業して22年の歳が経過し母校の発展を見るにつけ、自らの成長の度合いの低さに反省する毎日でもあります。時代の変遷とともに、その時の通達を判断と決断は、人生を大きく左右することは分かっていても目まぐるしく移り変わる社会情勢の変化をいち早く先取りし、具体化し行動することの困難さを皆さんも痛感されていることだと思います。以前副総長が同窓会の懇親会の席で「観の転換」の必要性を述べられたことがありましたが、痛く心に残る言葉であります。

現在卒業生も2万6千名を数えるに当たり、これ程の大きな集団がもつ効果的にお互いの自らの成長のために活用し得ないものかと思索しつつ、同窓会の役員会に参加していますが、いつも思うことは理工系の人間は、文化系の人間と比べて人間関係の接し方が若干なように思えないのではないかと、私一人だけではありませんか。むしろこれからの時代は、物の見方は、複雑多岐にわたる専門性の中にあつて、この善悪は別にして全体主義から個人主義に移行してよいと思えない。働き盛りのそして発展途上人である同窓生の皆さん、今一必要ならば新しい正確な情報と今後の予測ではありませんか。広島工大同窓生として同じ業の飯を食った人間であればこそ腹を割って心底話し合えるものです。学生時代の思い出話だけの同窓会ではあ

まり意味はありません。技術革新の波はスピードを増し、昨日の技術は今日は通用しなくなっている今日、同窓会を窓口にして、大学間との産学協同といった形で共同研究、共同開発も可能であり、今後各分野においても大学側と協力し合い知恵を出し合っていくことが必要なことだと思います。そのためには同窓会の組織の改革が必要であります。同窓会を以て来25年、今までは、同窓会活版屋のものと、財政管理の運営、及び各地域、職場の支部発足に努力してきました。歳月はかかりましたが、役員、幹事の義務によりある程度の成果は収めたかと思えます。これからはもっと中身の充実をもたしていくためには、会員の皆さんの一層の理解と協力が必要であることは言うまでもありません。後5年または同窓会発足30周年になります。この機会を目前にして私達が社会に発信した時の視点である母校、及び同窓会に対して建設的意見を同窓会まで手紙なり電話でお寄せ下さい。今後の同窓会の活動方針の参考にしたいと思います。

最後になりましたが、この度の長崎県の雲仙岳の山火で同窓生4、5名が被災されたこと聞き及んでおります。心から御見舞い申し上げますと同時に、工大を卒業せし一日も早く回復されることをお祈りいたします。

昭和44年度機械工学科卒(洛陽建設勤務)

# 同

## 第26回定期総会の報告

平成3年4月27(土)午後4時半から、広島県民文化センターで総会が開催された。

今回の総会の焦点は、終身会費の見直しと大学創立30周年記念に対する協力の二点である。終身会費の見直しについては過去10年間の活動費の推移を基に、今後の運用のためにも従来より1万5千円を今年度から1万8千円に増額することで決まり、30周年記念への協力については、すでに発足した記念事業検討委員会から具体的な計画が決まり次第、目標額に対して募金活動を行うことで具体化した意向が承認された。また、役員改選では、永見恵吾会長(昭和42年電子卒)が再任、幹事長には古川博仁(昭和54年機械卒)が選ばれた。なお、総会・懇談会の参加者総数は94名であった。

## 平成3年度活動方針

新役員が決議に基づき、大きく次の三つが掲げられた。

- (1) 定例活動の充実
  - (2) 大学創立30周年記念への協力
  - (3) 同窓会業務の大学との連携
- いずれも母校への支援活動と密接で



あり、業務の事務化を図りながら、各種委員会を中心に充実したい。

また、近年喜ばしいことに、職場あるいは地域支部の発足が相次いでおり、本部の支援体制の強化にも努めたい。この様に組織が拡大する上で、同窓会と母校の双方が互いに有意義に連携し、また同窓生同志にとっても有意義に活用される組織体制作りが急務となっている。そのためへの前進を皆様方の協力を得ながら進めて行きたい。(幹事長 古川博仁)

### 新支部発足情報

- 熊本県の同窓生の皆さん、熊本県支部の発足にご協力を//
- 発起人 古荘 元祐 福島 真一 遠藤光 空野利寿社 福島 真一
- 〒862 熊本市津島町2305-410 TEL 096-381-7316
- 愛媛県の同窓生の皆さん、愛媛県支部の発足にご協力を//
- お問い合わせは広島同窓会事務局まで

## 母校創立30周年記念事業を成功させよう!

昭和36年(1961年)に大学が創立されて本年で30周年になり、来る11月10日(日)にその記念式典が開催されます。創立30周年は本会にとっても非常に喜ばしく、先のご報告でも非常なように、委員会(委員長、永見会長)を設けて記念事業への参画を検討してまいりました。その結果、母校に記念像(右図参照)(予算500万円)を贈り、そのためのご寄付を皆様にお願ひすることになりました。

創立記念は卒業生全員の喜びです。記念事業を会員全体の協力により成功させましょう。一口でも多く、できれば2口以上ご協力を是非お願いいたします。(母校創立30周年記念事業検討委員会)



大学創立三十周年を祝し、像

詳しくは買の裏面説明をご覧ください

## 平成3年度 同窓会役員

|      |          |
|------|----------|
| 会長   | 永見恵吾(電子) |
| 副会長  | 道田進治(経営) |
| 副会長  | 橋田好弘(機械) |
| 幹事長  | 古川博仁(機械) |
| 副幹事長 | 湯尻 照(電気) |
| 副幹事長 | 吉田和信(機械) |
| 会計   | 水落健治(機械) |
| 会計   | 川畑敬志(電子) |
| 会計   | 高瀬 明(機械) |
| 会計監査 | 山我康博(電子) |
| 会計監査 | 中田時生(電気) |
| 書記   | 小池利明(機械) |
| 書記   | 松原 奇(経営) |

## 平成3年度 同窓会評議員

|           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 氏名        | 学科        | 氏名        | 学科        |
| 大森 壽男(電子) | 荒瀬 富雄(電子) | 枝原 和寛(電子) | 森本 房亮(電気) |
| 可知 英樹(電気) | 松原 昌弘(電気) | 大藤 美芳(機械) | 猪原 惠昭(機械) |
| 木村 一彦(機械) | 坂本 幸雄(機械) | 砂原 照雄(機械) | 藤川 正博(機械) |
| 新居 敏春(機械) | 松村 拓典(機械) | 立花 千秋(機械) | 三浦 勝行(土木) |
| 荒谷 寿一(土木) | 青木 能典(建築) | 中塚 晴夫(建築) | 金堀 一郎(建築) |
| 森田 洋生(建築) | 上之 博文(建築) | 森京 正(建築)  | 峠 孝司(経営)  |
| 吉清 有三(経営) | 大田 善穂(経営) | 岡本 世紀(経営) |           |



## 平成2年度会計報告

|          |            |
|----------|------------|
| 〈収支決算〉   |            |
| 平成2年度総収入 | 20,413,107 |
| 平成2年度総支出 | 17,508,108 |
| 残 高      | 2,904,999  |

|                  |            |
|------------------|------------|
| 〈収入の部〉           |            |
| 平成元年度繰越金         | 4,151,455  |
| 入会金3,000円×926人   | 2,778,000  |
| 終身会費15,000円×834人 | 12,510,000 |
| 総会費(大学の奨励金含む)    | 458,000    |
| 広告料              | 0          |
| 雑収入(寄付金等)        | 404,800    |
| 預金利息             | 110,852    |
| 合 計              | 20,413,107 |

|        |           |
|--------|-----------|
| 〈支出の部〉 |           |
| 会誌発行費  | 1,419,649 |
| 会報発行費  | 298,700   |
| 名簿発行費  | 1,947,215 |
| 総会開催費  | 796,410   |
| 支部費    | 301,679   |
| 在学生援助費 | 918,000   |
| 卒業記念品費 | 465,120   |

|          |            |
|----------|------------|
| 通信費      | 2,497,461  |
| 消耗品費     | 621,588    |
| 交通費      | 419,320    |
| 会議費      | 164,280    |
| 役員手当     | 108,000    |
| 委託費      | 1,615,690  |
| 同窓会基金繰入金 | 2,325,000  |
| 奨学金基金繰入金 | 3,376,000  |
| 母校支援寄付金  | 0          |
| 予備費      | 233,996    |
| 合 計      | 17,508,108 |

## 奨学金会計報告

|        |            |
|--------|------------|
| 〈収入の部〉 |            |
| 基金     | 9,127,923  |
| 繰入金    | 3,376,000  |
| 利息     | 126,384    |
| 寄付金    | 430,305    |
| 合 計    | 13,060,612 |
| 〈支出の部〉 |            |
| 奨学金    | 630,000    |
| 合 計    | 630,000    |

## 基金会計報告

|          |            |
|----------|------------|
| 平成元年度繰越金 | 93,715,572 |
| 本会計より繰入  | 2,325,000  |
| 預金利息     | 2,036,166  |
| 合 計      | 98,076,738 |

## 平成3年度予算

|           |            |
|-----------|------------|
| 〈収入の部〉    |            |
| 平成2年度繰越金  | 2,904,999  |
| 入会金       | 2,898,000  |
| 終身会費      | 15,660,000 |
| 総会会費      | 400,000    |
| 預金利息      | 100,000    |
| 雑収入(寄付金等) | 110,000    |
| 合 計       | 22,072,999 |

|          |            |
|----------|------------|
| 〈支出の部〉   |            |
| 会誌発行費    | 1,700,000  |
| 会報発行費    | 500,000    |
| 名簿発行費    | 2,100,000  |
| 総会開催費    | 930,000    |
| 支部費      | 290,000    |
| 在学生援助費   | 1,300,000  |
| 卒業記念品費   | 500,000    |
| 通信費      | 4,632,000  |
| 消耗品費     | 900,000    |
| 交通費      | 700,000    |
| 会議費      | 390,000    |
| 役員手当     | 160,000    |
| 委託費      | 1,419,000  |
| 同窓会基金繰入金 | 3,000,000  |
| 奨学金基金繰入金 | 630,000    |
| 母校支援寄付金  | 200,000    |
| 予備費      | 2,721,999  |
| 合 計      | 22,072,999 |

窓

## 平成 4 年度の入学試験から、新しい入試制度がスタートします。

日本の大学を取り巻く環境は、大変厳しい時代に入ってきました。広島工業大学では 21 世紀をめざして、大学の教育内容の充実を図る思いのひとつとして、志願者の入学を多角的に判定する「入学試験を革新し改善しました。」

この新しい入試制度では、従来努力を集中してした入学者選抜方法に加えて、新たに、広島工業大学への進学を強く希望している健全な学生、さらに努力溢れ個性の多彩な学生のみみなさんに入学する機会を拡げていくことを主眼としています。

平成 4 年度の入学試験の種類は、2 日間に亘り行う①一般入学試験、指定アララト。調査選抜による②公募制推薦入学試験、指定校による③指定校制推薦入学試験、職業高校を対象とする④職業高校特別推薦入学試験、社会的要請に基づく⑤社会人特別選抜入学試験⑥帰国子女特別選抜入学試験となっています。

以下簡略に入学試験制度の内容および入学試験日程について説明いたします。なお「入学試験要項」の請求先は、広島工業大学教育情報部です。

## 1. 一般入学試験

一般入学試験は、平成 3 年度入学試験と同様に、次の方式を区分し、2 日間に亘り実施されます。

| 試験日  | 平成 4 年 10 月 24 日(日)    | 平成 4 年 10 月 28 日(木)     | 試験科目   |
|------|------------------------|-------------------------|--|
| 募集学科 | 電気工学科<br>建築学科<br>経営工学科 | 電子工学科<br>機械工学科<br>土木工学科 | 数学(Ⅰ)、代数学および解析学<br>理科(Physics/Chemistry/Biology)<br>外国語(英語 I および英語 II) |

試験実施場所  
広島—広島工業大学 大阪—大阪 YMCA アペロ校  
姫路—姫路 YMC A 学園 岡山—岡山商工会議所 徳山—徳山大学 松山—松山総合コミュニティセンター  
福岡—福岡大学高宮校舎 松江—サンポートむらかも

## 2. 公募制推薦入学試験

公募制推薦入学試験は、志願者が受験教科の配点を選択して受験できる「配点アララト方式」が採用されます。

また、この「配点アララト方式」により受験した者の中から 30 名を限度として、調査書の採点結果に基づき、優先的に合格を決定する選考も併せて実施されます。

なお、試験科目につきましても、従前は、英語、数学、理科の 3 科目でしたが、英語、数学の 2 科目に変更し、実施されます。

具体的な内容については、次に記載する通りですが、平成 4 年度公募制推薦入学試験からは、現役に限り、出願できることとなりました。

| 試験日  | 平成 3 年 10 月 24 日(日)                | 配点方式(1)方式による選考(配点方式(2)方式による選考) |     |     |     |         |
|------|------------------------------------|--------------------------------|-----|-----|-----|---------|
|      |                                    | 英                              | 数   | 理   | 調査書 |         |
| 募集学科 | 電気工学科、電子工学科、機械工学科、土木工学科、建築学科、経営工学科 | A                              | 100 | 200 | 100 | 400 点満点 |
|      |                                    | B                              | 200 | 100 | 100 | 400 点満点 |
| 募集人員 | 各学科募集人員の約 30%                      | C                              | 150 | 150 | 100 | 400 点満点 |

## 実施場所

広島—広島工業大学 岡山—岡山造研学院 松山—愛媛大学 福岡—福岡大学高宮校舎

## 3. 職業高校特別推薦入学試験・指定校制推薦入学試験

職業高校特別推薦入学試験は、本学が指定する職業高校の職業にかかわる学科(工業、商業、…etc)を、また、指定校制推薦入学試験は、本学が指定する高校を平成 4 年 3 月に卒業見込の者を対象として実施される推薦入学試験です。具体的な内容については次の通りです。

| 試験日    | 平成 3 年 10 月 13 日(日)   |
|--------|---|
| 募集学科   | 電子工学科 6 名、電気工学科 6 名、機械工学科 12 名、土木工学科 6 名、建築学科 6 名、経営工学科 6 名 |
| 選考方法   | 調査書、面接および小論文の結果を総合して判定します                                   |
| 試験実施場所 | 広島工業大学  |

(注) 指定校制推薦入学試験の内容につきましては、本学が指定した高校に入学、通知されます。

## 4. 社会人特別選抜・帰国子女特別選抜

社会人特別選抜および帰国子女特別選抜は、社会に開かれた大学また国際化時代に対応する大学を目指して、新たに入実施される特別選抜の入学試験です。

具体的な内容は、次の通りです。

| 試験日    | 社会人特別選抜   |   | 帰国子女特別選抜  |   |
|--------|---|---|---|---|
|        | 平成 3 年 10 月 13 日(日)                             | 平成 3 年 10 月 13 日(日)                             | 平成 3 年 10 月 13 日(日)                             | 平成 3 年 10 月 13 日(日)                             |
| 募集学科   | 電子工学科、電気工学科、機械工学科、土木工学科、建築学科、経営工学科              | 電子工学科、電気工学科、機械工学科、土木工学科、建築学科、経営工学科              | 電子工学科、電気工学科、機械工学科、土木工学科、建築学科、経営工学科              | 電子工学科、電気工学科、機械工学科、土木工学科、建築学科、経営工学科              |
| 募集人員   | 若干名   | 若干名   | 若干名   | 若干名   |
| 選考方法   | 面接(英語および数学についての口頭試問を行います)と小論文および提出書類を総合して判定します。 | 面接(英語および数学についての口頭試問を行います)と小論文および提出書類を総合して判定します。 | 面接(英語および数学についての口頭試問を行います)と小論文および提出書類を総合して判定します。 | 面接(英語および数学についての口頭試問を行います)と小論文および提出書類を総合して判定します。 |
| 試験実施場所 | 広島工業大学  | 広島工業大学  | 広島工業大学  | 広島工業大学  |

## 完成年度を迎えた大学院

## 11 名に修士の学位授与

平成 4 年度に開設いたしました広島工業大学大学院工学研究科修士課程は、平成 2 年度をもって完成年度を迎えました。平成 2 年度末には、第 1 回の学位授与式が行われ、電子工学専攻 2 名、機械システム工学専攻 7 名、土木工学専攻 2 名の合計 11 名に修士の学位が授与されました。また、平成 3 年 6 月には、平成 4 年度大学院内推薦入学試験が行われ、電子工学専攻 4 名、機械システム工学専攻 6 名、土木工学専攻 3 名の合計 13 名が合格いたしました。平成 3 年 9 月には、平成 4 年度大学院一期入学試験と社会人特別選考が実施されました。このように、開設後 3 年目を迎えた大学院は、教授陣の充実、更には教室施設、設備の充実を行いながら、発展をいたしております。

なお、社会人特別選考に関しては、広く企業からの入学者を求めて、各専攻ごとに教育研究テーマを定め、企業要望に即した授業を実施いたしました。したがって、企業の研修制度のひとつとして本学大学院へのみみなさんの入学を希望いたします。

## 同窓生の皆さんと母校との連絡について

広島工業大学 0829-21-3121

沼田校舎 082-848-0145

広島校舎 082-249-1251

| 発行内容等   | 担当部署                     |
|---|--------------------------|
| 1 各種証明書の照会<br>申込方法<br>(1) 窓口申込の場合<br>① 氏名のうえ空白(教務課)で申込用紙に必要事項を記載して申込。<br>(2) 郵送申込の場合<br>氏名、学生番号、卒業年月、生年月日、住所を明記のうえ、所定の証明書類および返送郵料金を(いずれも切手印)を同封のうえ申込して。 | 学務部 教務課                  |
| 2 証明書の種類  | 料金(円)<br>(H. 2. 4. 1 規定) |
| 卒業証明書   | 200                      |
| 卒業成績証明書   | 200                      |
| 単位取得証明書<br>(英語、英語、電機等)  | 200                      |
| 卒業証明書(英文)   | 500                      |
| 卒業成績証明書(英文)   | 500                      |
| その他   |                          |

(注) 改姓後の氏名で証明書の発行を希望される場合には、戸籍抄本を送付してください。

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| 3 就職相談                              | 教育情報部     |
| 4 図書、雑誌、資料相談                        | 附属図書館 事務室 |
| 5 自校の入学案内                           | 教育情報部     |
| 6 沼田校舎(旧工九大)の施設利用(田舎、浴池、体育館、テニスコート) | 沼田校舎事務室   |
| 7 広島校舎の施設利用(会議、研修)                  | 広島校舎事務室   |



土木工学専攻の講義風景

電子工学専攻の講義風景

# 会

## 近況報告

卒業して容易に至るまでと云っても、容易に出すことが難いという年の月が過ぎた今、また、大学の4年間を印象深くかった期間としてとらえていた事も卒業式を1つの通過点と思うようになった今、もう一度振り返って現在、そしてこれからについて考える機会を与えて下さり感謝しております。

近況から申しますと、現在附属広島情報専門学校に勤務させていただいております。一世代以上若い18-19才の若者と情報処理について学んでおります。6年前に結婚して3才半の子がいます。2人目は女の子を希望しております。

学生には、今しか勉強できないのだから勉強しろといいますが、自分自身これまでを振り返ってみると、卒業してからの方が勉強する事が多かった様に思われます。学校で学んだ事は社会であり役に立たない、という話を卒業生から聞いたりもします。

しかし、ここ最近になって「学び方

# 工大すぴりっと

を学ぶ」という事で、学校で何をすべきか、自分は何をして来たのか納得できる様になりました。この事を学生に理解させ、身に付けさせたい。この頃は、そう思って学生と接しています。

今まで助手、プログラマ、事務員、教員と、それぞれの仕事の中でいろいろな勉強をさせていただきました。その中でどんな仕事をしていても、どんな勉強をしても決して無駄な事はないと考えるようになりました。

これからも、何事も経験と想って新しいものを積極的に取り組んでいきたいと思えます。(川野真理子)



経営工学科第11期卒業生  
広島情報専門学校教員  
(文化祭で学生たち)

第30回をむかえた体育祭ですが、学生たちのライフスタイルの変化に伴い、かつての精気が失われがちです。しかし、例年のことながら体育祭実行委員たちは張り切って火の鳥を1号機にかけました。委員長の本村君の話をきいてください。



### 第30回体育祭を終えて

去る、5月18、19、21、22日に渡って、第30回体育祭が行われた。今年、この体育祭の最大の特徴は、昨年までの学科・クラス対抗から自由参加による対抗戦へと変わったことである。昨年までの形式による、パンフレット等を見るが、一見参加者が沢山いるように見えたが、実際には同じ人が何度も競技に出場したり、他学科からの参加があったり、不慣れの数が多かった。それを自由応募に変える事によって、クラスの壁を越えて気の合う仲間が多くなった。それを自由応募に変える事によって、クラスの壁を越えて気の合う仲間が多くなった。それを自由応募に変える事によって、クラスの壁を越えて気の合う仲間が多くなった。

新1号館に 火の鳥を描いた18×8mの垂れ幕(ゴールデン・ワークを全部返して体育会本部全員で作りあげた)を掛けると体育祭を迎える準備は整った。5月18(土)を通る様な青空の下で第30回体育祭開会式が行われた。開会式に参加した学生の数という、今までで最低の数だったかもしれない。しかし、それは我々(体育会本部)の予想したものであった。体育の出陣を取るから開会式には出ておこうという気持ちで参加して、式中に私語をされたのは学長先生に失礼だし、何ヶ月も前からこの日の為準備してきた選手がバレーになってしまふ。そんな気持ちから強制的な参加はさせなかった。選手入場が始まると思わず感激であり目から涙がこぼれ落ちた。

19日には、大運動会。21、22日には、各種競技が行われた。初日はグラウンド状態が悪く、ソフトボールはドムボール、テニスでは卓球で勝負を決める事になった。自由応募に変えた事によって昨年までの体育祭より参加人数は増えたものの、まだまだ足りない気がした。何かと問題のある体育祭ではあるが、無事全日程を終了することができた。最後一言、学生はもちろんの事、教職員の方も何故、休講になっているの。最後に思い出していただきたい。第30回体育祭実行委員長 友村光宏

## 広島工業大学人事

### 新規就任者(平成3年4月1日付)

- 常務理事 特任教員 教授(電気) 中山勝夫  
教授(機械) 倉林茂雄  
教育職員 教授(建築) 坂田 泉  
教育職員 教授(機械) 日野裕之  
教育職員 講師(一般) 堀部秀雄  
教育職員 助手(一般) 佐藤直徳  
教育職員 助手(電気) 大村道徳  
専任教員 教授(機械) 上野 學

### 退職者(平成3年4月1日付)

- 教育職員 教授 石田 剛(一般教育)  
教育職員 教授 上野 學(機械工学科)  
教育職員 教授 川村雅彦(土木工学科)  
専任教員 教授 荒巻誠吾(経営工学科)  
教育職員 助教授 久島公夫(一般教育)  
専任教員 助教授 R.W. マクウイリアムス(一般教育)  
特任教員 教授 滝谷良一(一般教育)  
特任教員 教授 青木 栄(建築学科)  
特任教員 教授 中井正文(一般教育)  
特任教員 教授 船越 稔(土木工学科)  
特任教員 教授 佐藤重夫(建築学科)  
特任教員 教授 林 公重(建築学科)

## 編集後記

同窓会の事務関係の仕事を手尾景子さんに代わりまして、本年度4月より大田佳子さんにお願いすることになりました。大田さんにはアルバイト期間を含めますと、約3年前からお世話になっております。また、昭和48年4月よ

## 学位取得

- ・電気工学科 中迫 昇  
学位の種類 工学博士  
取得年月日 平成2年5月10日  
論文名 「室内音環境におけるエネルギーシステムの定常及び過渡確率応答に関する信号処理法」  
授与大学 広島大学(第1997号)
- ・電気工学科 湯原 照  
学位の種類 工学博士  
取得年月日 平成3年1月31日  
論文名 照明レベルによる色の見えの変化とその明るさ知覚への寄与に関する研究  
授与大学 東京工業大学(第1790号)
- ・建築学科 手越 義昭  
学位の種類 工学博士  
取得年月日 平成3年4月23日  
論文名 建築物の統合化設計支援システムの構築法に関する研究  
授与大学 九州大学(工学乙第898号)

## 会誌・会報の情報収集にご協力をお願いします

会誌・会報をもっと身近なものにすべく、いくつもの、どんな小さな事でもよろしいです。皆様方の声を同窓会室へお送り下さい。  
(連絡先) 広島工業大学同窓会事務局  
〒731-51 広島市佐伯区三宅2-1-1  
TEL 0829-21-3121(内線570)  
ファックス 0829-22-1480

## 大学創立三十周年記念金庫要項

1. 金額 一口 3,000円(5,000円)
2. 送金方法  
同封の振込通知票に必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局よりご送金下さい。

平成3年度同窓会会員名簿頒布予約について  
○頒布価格 1冊3,000円(送料込み)  
○発行予定 平成4年3月末  
○申込方法  
会員番号(学生番号)・氏名・送付先を明記し同窓会事務局へお申込下さい。  
支払いの方法については、後日連絡いたします。(☆同窓会会員以外には頒布いたしません。)

## 訃報



本学電気工学科教授榎茂忠先生は、平成3年5月31日午後5時22分、脳病気(病名：肝硬変)によってご逝去されました。ここに、同窓生一同、榎先生の御冥福を心から御祈り申し上げます。なお、告別式は、6月2日延命寺(広島市佐伯区三宅)に於いて、学園報として取り行われました。

## お詫びと訂正

広島工業大学同窓会誌第25号の「寄付者ご芳名一覧」の中で(電子)入野秀雄、(土木)堀内真穂のお名前と、(経営)下向若者伸様の学科が間違っただけ記載されておりました。訂正してお詫びいたします。

り昭和60年3月まで大学のT.M.教室・一般教育事務局・教務課に12年間勤務されていた。会員の皆様の中にもご存じである方がいらっしゃるかと思えます。同窓会会報の第25号を発行いたしました。本年度も昨年に続き大学から編集委員として、学生課の瀧根和子さん

にご協力していただきました。今後の会誌・会報の充実のためにもご意見・ご感想をご遠慮なくお寄せ下さい。お待ちしております。最後に、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。 編集委員一同

